

議会だより 2023

vol.118

いざい

6月のあじさい

案例の改正	2
令和5年度補正予算	3
7民が一般質問	4～11

6月定例会 6月9日～15日

令和5年6月定例会

令和5年6月定例会は、6月9日から15日までの会期で開かれ、令和5年度補正予算など村長提出7議案を審議・採決した。また、一般質問には7氏が登壇し、村政全般についてたじた。その概要は以下のとおり。

条例

村税条例等の改正（専決）

法の改正に伴い、村税条例などの一部を改正するもの。

主なものは、森林環境税の賦課徴収の規定や納税通知書の改訂など。

【全員賛成で承認】

国保税条例の改正（専決）

国保税条例参考例の改正および対応する法令の規定に合わせるため、所要の改正を行うもの。

【全員賛成で承認】

山の家設置条例の改正

今後の有効活用に当たり、村直営での管理に加え、指定管理での運営ができる規定を盛り込んだもの。

【全員賛成で可決】

工事請負

地域農業水利施設ストックマネジメント事業千原排水機場No.2主ポンプ分解整備工事

契約の方法
随意契約

契約金額

5280万円
(内消費税480万円)

完成期限

令和6年3月15日

契約の相手方

石垣メンテナンス株式会社 四国支店

随意契約理由

本工事はポンプを分解し老朽化した部品の製作、取替を行うもので現在設置しているポンプの知識が必要な業務である。

ポンプは、各メーカーがそれぞれに独自の技術で、今回の工事について他社に見積り依頼したところ対応できない旨の結果であった。

ついては、本工事を履行できる本ポンプを取り扱えるメーカーの石垣メンテナンス(株)と随意契約を結ぶものである。

【全員賛成で可決】

人事

農業委員会委員の任命について

村長より次の14氏を農業委員に任命したいとの提案があり、同意した。

【全員賛成で同意】

芸西村農業委員会委員（届出順）		
氏名	生まれ年	地区
清遠典子	昭和39年	西分
西笛勤	昭和29年	和食
貞廣誠也	昭和39年	和食
川田忠宏	昭和39年	馬ノ上
岡村和紀	昭和56年	馬ノ上
松本明広	昭和40年	西分
國澤剛	昭和58年	和食
高松勇一	昭和44年	和食
岡村真吾	昭和58年	馬ノ上
山崎一義	昭和24年	和食
安岡志乃	昭和48年	和食
都築直美	昭和47年	西分
筒井誠	昭和58年	和食
白石裕二	昭和47年	西分

任期：令和5年7月20日～令和8年7月19日

令和5年度補正予算

一般会計

（専決第1号）

2423万円を追加し、総額を56億4123万円とするもの。主なものは、非課税世帯給付金1800万円、生活支援特別給付金375万円など。

【全員賛成で承認】

補正額4,930万円の増額 総額56億9,054万円

主なもの

区 分	金 額
ひがしこうち誘客促進事業負担金	258万円
生活支援地域振興券交付金	3,650万円
広域保育負担金	294万円
園芸用ハウス等リノベーション事業補助金	366万円
流出防止燃料タンク補助金	116万円
エアコン設置工事費（幼稚園）	313万円

【全員賛成で可決】

生活支援地域振興券交付金
3,650万円

園芸用ハウス等リノベーション
事業補助金
366万円

議会の動き

4月

14日（金） 議会だより117号第3回広報編集委員会
21日（金） 例月出納検査【監査委員】

5月

10日（水） 安芸地区地域安全協会監査【議長】
16日（火） 安芸郡監査委員協議会総会【監査委員】
22日（月） 例月出納検査【監査委員】
23・24日（火・水） 全国町村議会議長・副議長研修会【議長・副議長】
26日（金） 高知県監査委員研修会【監査委員】
30日（火） 安芸郡町村議会議長会総会【議長】

6月

2日（金） 令和5年第2回芸西村議会「定例会」
議会運営委員会
9日（金） 令和5年第2回芸西村議会「定例会」開会
14日（水） 令和5年第2回芸西村議会「定例会」
一般質問
15日（木） 令和5年第2回芸西村議会「定例会」
審議採決・閉会
議会だより118号第1回広報編集委員会
21日（水） 例月出納検査【監査委員】
23日（金） 高知県町村議会議長会臨時総会【議長】
28日（水） 議会だより118号第2回広報編集委員会【議長】

一般質問

ここは^どう^する

6月定例会では7氏が登壇し、村政全般について質問しました。

- 坂本 史 4p
 - 投票率を上げる対策は
- 濱田 圭介 5p
 - 南国安芸道路開通を踏まえた観光政策は
- 岡村 星弥 6p
 - 桜ヶ丘公園の点検と整備管理を
- 安岡 公子 7p
 - 文化財保護・継承と観光施策は
 - 生涯学習館の利用促進は

- 西笛 千代子 8p
 - 避難所運営マニュアルは
 - 人権教育は
- 堀川 友久 9p
 - 固定資産税減免制度の創設を
 - 浸水被害に対して今後の対策は
- 仙頭 一貴 11p
 - 商工業の支援策は
 - (他1問)

投票率を上げる対策は 関心を高めてもらう取り組みを進めていく 村長



坂本 史 議員

問 坂本 議員

近年の国政選挙や地方選挙において、投票率は右肩下がりの状況である。

投票所の設置状況や投票率の推移、さらに投票率向上対策、また若年層への意識啓発について聞く。

答 松本 総務課長

投票所の設置状況は、期日前投票所は村民会館となっている。当日の投票所は全部で5カ所あり、地区ごとに分

かれている。

投票率の推移は、中長期的な視点で見ると低下の傾向にある。

投票率向上への取り組みは、防災無線や広報車の巡回による投票への呼びかけを行っている。

若年層への意識啓発は、選挙権ができた人に個別にお知らせを送付し、成人式では啓発用パンフレットを配布している。

また、中学生には講師を招き、選挙の出席授業を開催し、選挙の大切さを学ぶ取り組みを行っている。

問 坂本 議員

数年後に選挙権を持ち、有権者となる小中

答 溝淵 村長

学校を対象に、こども議会を開催してどうか。また、移動期日前投票所は投票率向上対策の一つとして有効な対策と考えるがどうか。

こども議会については、議会の仕組みや議員活動に触れる機会を持つことで、重要性を認識してもらうことは、子どもたちの将来の政治参加に向けて貴重な体験になり、大変収穫が大きい取り組みと思う。

学校側の意向なども含め総合的に検討していくことになろうと考えている。

移動投票所について

は、投票の機会の確保という点からすると、巡回型の投票所、現在の投票所への移動支援など具体的に検討して

いく必要がある。国の進めるデジタル化による対応策の動向も注視しながら、行政と議会が協力体制をと

り、選挙や議会活動へ関心を高めてもらう取り組みを進めていくことが重要と考える。

南国安芸道路開通を踏まえた

観光政策は

魅力や認知度の向上を 村長



議員 濱田 圭介

問 濱田 議員

高知東部自動車道、南国安芸道路の延伸工事が着実に進んでいるが、村外からわざわざ本村に立ち寄ってもらえるよう、観光やイベントなどを通じて、村の魅力をより一層高

めることが必要である。観光施設やイベントに対する、ソフト・ハード両面からのブラッシュアップはもちろんのこと、琴ヶ浜周辺や山の家の開発も不可能ではないと考える。いわゆる「通過の村」になることのないように、自動車道開通を踏まえた観光政策について聞く。

答 池田企画振興課長

高速道路延伸を見据えた交流人口増の取り組みとして、グルメや特産品、観光地などの村の魅力を盛り込み、多様なニーズに対応できる観光パンフレットを作成する。また、竹灯りの宵などの各種イベントについては、より効果的な情報発信や村への関心や愛着を深めてもらえるような内容とするなど、集客増を目指す。

答 溝淵 村長

高規格道路の整備延伸で交通アクセスが飛躍的に向上し、交流人口の増加が期待される場所であるが、この機会を有効に活用して、多くの人に本村を訪れてもらえるよう、魅力や認知度を向上させなければならぬ。和食ダムを含めた村の観光スポットや文化遺産、特産品などの地域の魅力を、一体的にSNSなどを通じて発信していく必要がある。また、イベントなどについても、他との差別化を図りながら魅力度をアップさせていくよう努力していく。



琴ヶ浜

桜ヶ丘公園の点検と整備管理を

優先順位をつけ対応する 教育長



岡村 星弥 議員

問

岡村（星）議員

桜ヶ丘公園のライトアップは例年以上の反響があったと聞く。近年の桜ヶ丘公園の点検、整備、管理体制や桜まつりの運営体制、事前準備はどのように行っているか。

答

佐藤教育次長

草刈りやトイレ掃除、桜の剪定などを定期的に行い、維持管理に努めている。

答

池田企画振興課長

2月上旬にイベント内容を決定した。広報は県内のタウン誌やSNSなどに掲載し、チラシは村内と隣に新聞折り込みを行った。

問

岡村（星）議員

臨時駐車場や電気設備は村内事業者に委託し、期間中は定期的に点灯確認も行った。

公園内の階段や手摺で危険な箇所があった。

また、交通に関しても、数多くの不安の声を聞いた。子どもから高齢者ま

答

池田教育長

で、事故なく安心安全に楽しめるように、継続的な点検や整備、交通整理が必要ではないか。

開園から30年以上が経過し、工作物も老朽化している箇所がある。緊急を要する箇所はその都度、対応している。緊急を要さない場所は、そのままになっている箇所もあるため、再点検を行う。優先順位をつけ対応し、公園環境を維持していきたいと考える。

答

池田企画振興課長

車の混雑、駐車場の分かりにくさなどの意見は聞いている。分かりやすい看板の設置や混雑が予想される日は、車両を誘導する人員配置も考えている。

多くの人に、安心して楽しんでもらえるイベント運営に努める。



桜ヶ丘公園の遊歩道

文化財保護・継承と観光施策は 魅力を複合的・一体的に発信できるよう検討 村長



安岡 公子 議員

問 安岡 議員

本村には多くの文化財や史跡があるが、案内板の劣化や整備が行き届いてない場所がみられる。

文化財や観光資源の整備はどのように行われているのか。

ガイドマップができ、村歩きが行われているが、ガイドは非常勤で半ボランティア的な位置づけとなっている。このままでは継承が危ぶまれる。正職員が関わり継承していくべ

答 佐藤教育次長

きではないか。また、子どもたちへの文化財継承の取り組みはどのように行われているのか。

文化財は、定期的な清掃やパトロールを行っており、劣化している案内板は早急に修繕を行うよう努める。村あるきガイドは、生涯学習の人材バンク制度を活用し文化協会の一サークルとして活動している。発足には正職員が関わり、現在も事務補助をしている。会員は3人だが、ガイド実施者は1人と

答 池田企画振興課長

なっているのが現状で、勧誘・養成に努める。子どもたちには、発達段階に応じて、歴史や文化財の継承に触れる学習を行っている。

野外劇場周辺は、清掃委託業務を行っているが、フォトスポットは管理が不十分な状況だった。地権者と草刈りなどの手入れについて協議するとともに、今後は定期的な見回りが必要だと考えている。

問 安岡 議員

ダム工事と高規格道路延伸が進む中、観光資源としてダムを生きかし、人を呼び込み、経済を活性化させる村づくり構想を問う。

答 池田企画振興課長

ダム周辺環境整備事業検討会で検討を行っている。

料理や土産については、メニューの開発を検討してくれる村内業者もあるので、協議を進めていく。ダム上流部を歩いて一周でき、左岸部にはダム湖と太平洋を望める展望台を整備する計画となっている。

答 溝 村 長

四国南東部での周遊観光の推進、民間活力や、村内企業を考える人の参入などにより、新たな魅力と活気が加わるよう積極的に援助

を行っていく。観光資源や文化遺産、特産品・イベントなど村の魅力を複合的・一体的に発信できるよう研究していく。



1億3000年前の岩塊(西分漁港)

生涯学習館の利用促進は

飲食スペースは問題のクリアが必要 教育長

問 安岡 議員

文化資料館・筒井美術館企画をもっと広報して押し出していくべきではないか。

また、図書館利用者から「弁当持参で勉強に行きたい。」という声がある。生涯学習館のどこかに飲食スペースを設け、利用促進につなげていったらどうか。

答 佐藤教育次長

企画展については、ホームページやラインなどでタイムリーに周知していくよう努める。図書館での飲食は、

隔離するスペースの問題もあり、実現しにくい状況だと言える。

問 安岡 議員

近年、他市町村の図書館では飲食スペースを設けている。

土日祝日だけでも、ロビーの一角や時間を限定して利用者のニーズに添えていくべきではないか。

答 池田教育長

民間企業や新設の図書館では食事可能なスペースを設けるところが出てきている。

本村では、スペース、

避難所運営マニュアルは

運用の見直しを行い備えを進める 村長



西笛 千代子 議員

問 西笛 議員

住民の多くが共有

することで円滑な運営が行われると思うが、ホームページでの掲載は必要と考えるか。ペットの同行、同伴避難について問う。

答 松本総務課長

平成27年度から30年度にかけて、避難所17カ所の運営マニュアルを、自主防災組織や住民も参加し、内容の協議を行い策定している。

ホームページなどで公表は行っていないが、住民の日頃の理解が大切だと考え、公表については検討したい。

各避難所のマニュアルの中で、ペットスペースの位置や受け入れに関する項目が定められている。

同行避難を希望する住民を対象とした避難所を定めてはいるが、各避難所のマニュアルにおいて、受け入れた場合の対応を定めた内容になっている。

答 溝渕 村長

被災時の行政組織は、災害対応業務にフル稼働であたらざるを得ない状況と思われ、限ら

れた人員の中で細かな避難所運営まで十分に手が回らないことが予想される。

震災直後の避難所の開設や運営は、住民が主体となり協力し合い取り組む状況は想定しておかなければならない。

訓練などを通じて問題点を確認し、見直しなどを絶えず行い役立つマニュアルとなるよう努力を重ねる。

今後も村全体で災害に立ち向かい乗り越えていけるよう、備えを進めていく。



人権教育は

環境づくりを心がけている

教育次長

問 西 笛 議員

性的マイノリティーについて幼い頃から理解する教育が必要ではないか。

全国的に制服の見直しをする学校も増えているが中学校の動きについて問う。

自分らしく生きていくため悩んでいる子どもたちが、少しでも暮らしやすい環境をつくってあげることが必要と考えるがどうか。

答 佐藤 教育次長

現場での学習は年齢に応じた対応をしている。

保育所・幼稚園では男女間の固定的役割分

担意識につながる声掛けはしない。出席簿、並び順などを男女混合にし呼びかけも「さん」で統一している。

保護者向けに性教育絵本を展示し、親子で性を大切にするきっかけづくりに取り組んでいる。

小学校ではLGBTに関わる教育はしていないが、教職員の研修を令和4年度に実施している。令和5年度には「性教育に関わる講演会」をPTAと連携して実施した。

中学校では昨年度、トランスジェンダーの講師を招いて1・2年生を対象に講演会で学習した。

制服については特に表立った要望はないが、他校でジェンダーレス制服が導入された事実もあり、選択肢の一つとして教職員で検討を始めている。

性的マイノリティーなどの悩みについての教職員の関わりについては、いまだに多くのケーススタディや、事象に対する共通の認識が醸成されているわけではないが、学校が初期対応の場となる可能性もあると認識しており、教職員の理解が大切と考え、研修・啓発・通達周知などを行い、打ち明けやすい環境づくりを心がけている。

固定資産税

減免制度の創設を

情報収集を行い研究していきたい 村長



堀川 友久 議員

問 堀川 議員

空き家対策について、全国的にも地震が多発しており、危険家屋の崩壊を心配している。

空き家を除却した場合、除却後の固定資産税が高くなるため、空き家を放置している原因の一つになっている。

全国的にも事例が増えてきているが、本村でも、危険な家屋を取り壊した後の固定資

産税の減免制度の創設をしようか。

答 松本 総務課長

人口の減少に伴い、本村でも空き家が目立つようになり中には適切な管理がされおらず、周囲に悪影響を及ぼしている空き家もある。

解体に多額の費用がかかるなど、所有者間にもあり空き家が増えているのが現状である。除却に補助事業を活用した場合の対応や対象となる空き家の範囲の設定など、いろいろと検討が必要のため、今後協議をしていきたい。

問 堀川 議員

空き家対策として住宅のリフォームに対する補助金などを創設することで、空き家の減少につながると思うがどうか。

答 溝 潤 村長

空き家対策事業として、国・県からの補助を有効に活用し、財源に充て取り組んでいるところである。

全国的な動向や市町村の例や運行状況など、さらなる情報収集を行い、研究していきたいと考えている。

浸水被害に対して今後の対策は

力強く要望を続けていく村長

問 堀川 議員

6月2日に線状降水帯が発生し、本村でも被害が多数あったが、被害状況を問う。

今回の被害は、本村でもできるだけ対処した結果だと思うが、対策として、河口を広げる、ポンプの増設や容量のアップなどがあると思う。
村民が安心して暮らすためにも本村の考えを問う。

答 吉永産業振興課長

現地で確認や聞き取りなどを行い、おおむね把握している。浸水箇所も広範囲にわたっ

ていることを確認している。

答 山本土木環境課長

水門は4本とも閉塞はなく、三つの排水機場では、ポンプが全て運転したにもかかわらず、広範囲にわたり浸水した。

この状況を和食川の管理を行っている安芸土木事務所にも、現地確認をしてもらい、また、県の農業振興センターには、現在のポンプの能力では排水しきれないことを確認してもらっている。

県のそれぞれの機関に、導流堤の放水路の

増設や、排水ポンプの能力の増強を要望していきたい。

答 溝 刈 村 長

排水ポンプの増設については、昨年の大雨の状況を県の農業振興センターが把握し、ポンプの増設なども含めた調査を行っている。

排水機能を高めることについては、高波による放水路内の閉塞問題もあり、解決に向けた取り組みを強力に進めていくよう、重点的に要望を重ねてきている。

被災を最小化するためにできる限り速やか

に、下流部の排水が海に流れるような基盤整備について、協議を重ねて力強く要望を続けていく。



大雨時の和食川の導流堤

商工業の支援策は

慎重に検討 村長



仙頭 一貴 議員

問 仙頭 議員

近年、商工費予算は30万円前半で組まれている。長年、商工費は代わり映えしないが、新しい取り組みはないのかを聞く。

本村の商工業は、未来が見えない。未来がないものには後継者ができるはずもない。高規格道路が開通し、サンシャインが撤退すれば、多くの買い物難民が出るのではないか。そうしないためにも、地場産品直販所や商

店を確保、維持することが必要だ。しかし、今のままで難しいのではないかと村長は後継者問題をどう考えているか、どう解決していくのかを聞く。

答 溝渕 村長

商工業への支援策については、実情に応じた支援策を模索し慎重に検討していく。商業の活性化という全国的な課題の一方で、自治体ごとに置かれた実態は千差万別だと捉えている。

本村の地域活力を活性化させるための新たな取り組みとして、ふるさと納税寄附金を活用

したクラウドファンディングによる、新しい事業の掘り起こしや事業者の参入支援を行っている。

個人営業の業態の後継者対策は、明確な特効薬を見いだすのは難しいが、一過性のものではなく事業を将来にわたって継続可能な形にしていくための支援策を研究していく必要があると考えている。

それぞれの事業が、将来にわたり持続可能なものになれば、おのずと後継者、事業継承の課題も明るい方向が見えてくるのではないかと考えている。

本村の商工業の現状にどういった課題があるのか、さまざまな意

見も聞きながら商工会とも連携して協議をしていきたい。



議会の傍聴にお気軽に

おいでください。

議場の音声を庁内放送しております。庁舎3階へお越しになれない方も、庁舎1階・村民会館1階でもお聴きいただけます。

次の定例会は

9月の予定です。

編集委員

委員長 岡村 星弥
副委員長 堀川 友久
委員 坂本 史
仙頭 一貴

西笛千代子
濱田 圭介
安岡 公子
山本 俊二
小松 康人
岡村 俊彰

詳しく知りたい方は、
村のホームページでも

会議録が閲覧できます。

議会事務局

(TEL) 33-2137



七夕・誕生会
7月7日(金)



芸西幼稚園

